



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA  
THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342  
c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER. 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題  
アジア会長主題  
東日本区理事主題  
あずさ部部長主題  
東京西クラブ会長主題

“Misson with Faith” 「信念あるミッション」  
“Through Love. Service” 「愛をもって奉仕しよう」  
「原点に立って、未来へステップ」  
「ワイズメンとして一歩前進」  
「少しでも前へ進もう そしてあがいてみようこの一年」

### 2015年12月号

NO 472

富は、天に積みなさい。(20 節)  
あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。(21 節)  
新約聖書 マタイによる福音書 6章

### ワイズの大先輩

山田利三郎

今月はMC(会員増強と維持啓発)の月です。そしてクリスマス  
の月でもあります。クリスマス間  
近になると、どこの教会やキリス  
ト教関連施設でも幼児を中心に  
ページェントとしてキリスト誕  
生物語が行われます。

その1シーンとして地味ではあり  
ますが登場するのが、東方の3  
博士の物語です。

エルサレムよりはるか遠い東  
の地で占星術の学者たちは、「ユ  
ダヤ人の王としてお生まれにな  
った方」の星を見て、またその星  
に導かれ、はるばるエレサレムに  
来て、遂に母マリアに抱かれた幼  
子を拝みひれ伏し、宝の箱を開け  
て黄金、乳香、没薬を贈り物とし  
て献げたという物語です。

その導いた星こそワイズメン  
ズクラブのバッチやエンブレム  
等に用いられている星でありま  
す。また多くのクリスマスツリー  
の上に飾られている大きな星で

もあります。遠い地から多くの犠  
牲と苦勞を重ねて旅して、自分の  
持てる宝ものや財産を費やして  
捧げる態度は、ワイズが見習うべ  
き大先輩と言えます。占星術学  
者、は博士であり、ワイズメン(賢  
人)でもあります。

話は変わります。ある人をワイ  
ズへ誘ったところ私は賢人では  
ありません、と断られました。勉  
強不足で反論する知恵もありません  
でしたのでそのままになりました。

凡人が賢人ぶるのではなく、凡  
人が賢人と称するユーモアを理  
解して、凡人同士が楽しく交わり  
奉仕するところがワイズらしい  
と思います。

自宅の机の前壁に、ワイズの大  
先輩・東方の3博士の行動を描い  
た渡辺禎雄画伯の12号エッチン  
グ絵を掲げ、少しでも見習いたい  
と願っています。

### 師走! 新宿のエネルギーを

WHO ウォーキングの12月例  
会は、新宿・大久保のコリアンタ  
ウンから花園神社までのコース  
です。常に新しいものを飲み込ん  
で変化し続ける“新宿”からエネ  
ルギーをもらいましょう。歴史を  
感じる社寺も巡ります。

期 日：12月19日(第3土曜)  
コース：JR山手線・高田馬場駅

ー玄国寺ー諏訪神社ー戸山  
公園ー新大久保コリアンタ  
ウンー皆中稲荷神社ー小泉  
八雲記念公園ー職安通りコ  
リアンタウンー山野愛子旧  
邸庭園ー島崎藤村旧居跡ー  
鬼王神社ーゴールデン街ー  
花園神社ーメトロ・新宿三  
丁目駅

集 合：山手線・高田馬場駅東口  
BIGBOX 前 9:40

解 散：メトロ・新宿三丁目駅  
参加費：300円(交通費・施設利  
用料は各自負担。初回参  
加料200円)

携行品：昼食、飲み物、雨具

### クラブ役員

会 長 大野 貞次  
副 会 長 高嶋美知子  
書 記 篠原 文恵  
会 計 石井 元子  
担当主事 小畑 貴裕

11月の記録		ニコニコ	9,460円
在籍者数 17人 (内功労会員) 1人	メ ネット 1人	クラブファンド	0円
例会出席者数 11人	コメット 0人	ファンド残高	341,707円
メーキャップ 1人	ビジター 3人	ホテ校ファンド	8,000円
出席率 75%	ゲ ス ト 4人	ホテ校残高	52,578円
前月修正 -	出席者合計 19人	WHO参加者	38人

## 今月の強調テーマ： EMC/MC

12月はMCの月にふさわしくメンバーが楽しみ、心かよわせる恒例のクリスマス祝会です。

今回は中野駅（中央線・総武線）北口徒歩2分にある中野サンプラザ15階のアクアルームでちょっとおしゃれに楽しみませんか？

40周年記念祝会会場の下見を兼ねていますが、南に面した窓からは眺望最高、夜景を楽しみ、料理を味わい、皆さんと過ごす時を楽しみにしています。

日時：12月17日(木) 18:45~21:00

会場：中野サンプラザ 15F アクアルーム

(中野区中野4-1-1 TEL 03-5942-3600)

会費：6,000円(ゲスト、ビジター、メネット)

当番：C班(小畑・鳥越・小山・本川・山田利)

## HAPPY BIRTHDAY

4日 神谷 雅子 15日 吉田 廸子

受付 鳥越 成代  
司会 山田利三郎

## 第1部

開会点鐘  
ワイズソング  
聖書朗読・感謝  
挨拶と紹介  
ワイズ報告  
YMCA報告

大野 会長  
一 同  
司会者  
大野 会長  
大野会長他  
小畑 主事

## 第2部

ワイズディナー  
話

一 同  
小畑 貴裕

## 第3部

ビンゴゲーム(プレゼント交換を兼ねる)

当日1,000円程度のプレゼントをご用意下さい。  
ハッピーバースデー

ニコニコ

一 同

閉会点鐘

大野 会長

## —11月事務会報告—

日時：11月26日(木)

19:00~20:40

場所：荻窪・ピアンタ

出席者：石井、大野、神谷、木原、

篠原、高嶋、山田、吉田

<報告事項>

①11月のデータを確認した。

②11月の経常会計を承認した。

③会員の近況が報告された。

<協議事項・例会関係>

## ▲1月例会

日時：1月21日(木)

会場：山手センター101号室

内容：未定

担当：A班 吉田、木原、堀内、  
石井、篠原、山田(紀)

## ▲2月TOF例会

日時：2月18日(木)

会場、内容：未定

担当：B班 神谷、竹内、  
河原崎、高嶋

## ▲3月合同例会

日時：3月17日(木)

会場：山手YMCAセンター

卓話：昭和大学名誉教授・岡松  
孝男博士(小児外科)

「小児外科の海外医療援

助—カンボジアを中心  
として—(仮題)

担当：C班 山田(利)、小畑、  
小山、鳥越、本川

<協議事項・例会以外>

①ブリテンの来年1月号から「こ  
うちゃんの Wellness」に代わ  
る記事の企画案が出された。

②前月に続き、当クラブの会員増  
強のために何ができるか、個々  
に考えを述べた。他クラブの祝  
会や例会に出席した会員から、  
具体的な好例が出された。

③創立40周年記念事業準備委員  
会の神谷会計担当から、予算案  
づくりを行う旨、発言があっ  
た。(書記・篠原文恵)

## お元気です！ 木原前会長

退院後、自宅で療養中ですが意  
気軒高。ピアンタでの毎月の事務  
会に顔を出され、美味しいコー  
ヒーをいれて下さいます。

最近、全会員の名詞を作って下  
さいました、スプライト付きの素  
晴らしいものです。

ブリテン最終頁の随筆も計画  
されています。



## お元気です！ 庄野久男さん

しばらく例会出席ができない  
「JA1AA」の庄野久男さんの最近  
の写真を紹介します。昔のハム仲  
間が11月1日に訪問して懇談さ  
れ、お元気な様子を撮影し、  
facebookに載せられました。元  
東京クラブの筈川光郎さんが知  
らせてくれました。





11例会で野尻湖キャンプを語るフレッシュ先生

## 少年たちへの全人教育 —11月例会報告—

夜は少し寒さを感じるようになった11月19日に11月例会は開かれた。健康上の都合、その他の都合により当クラブメンバーの欠席者が多いのが若干寂しさを覚える。

優れた人材を輩出してきたと言われる東京YMCA野尻学荘組織キャンプの現在を、ご自身キャンパーを経験されリーダーとして長く活躍された町島嵩史さんに語っていただいた。

野尻学荘キャンプの歴史、初期の頃から現在に至る教育目標、組織キャンプとは、についてキャンプの様子の写真を交えてパワーポイントを駆使してお話しいただいた。

1921年、東京YMCAは少年事業を開始、全人教育を目差し、その手段としてのグループワークの一環として、長期キャンプ活動の教育的意義を確認し、活動を開始した。当時、YMCA少年部委員であった実業家小林弥太郎氏の強力な支援があつて、この活動は実施することができ今日に至っている。

第1回キャンプは1932年長野県野尻湖畔にて指導者10人、医師3人、見習指導者4人。そして少年24人で7月24日から5週間で実施された。キリスト教的人生観の確立、高い水準における生活実践等々を教育目標として。それ

から80年太平洋戦争による中断を経て、今日まで継続実施されている。

優しい心を持ち、平和を愛し、自他ともに個人を尊重する、よりよい社会を創造することに努力する、基本的な生存のための必要な知識や技術を身に付ける、多方面の興味を開発する、自然を愛し調和のとれた謙虚な生活態度を身に付ける、等が現在の教育目標である。

以上、28歳の青年教師(晃華学園小学校の体育科教師)は爽やかに語った。(神谷幸男)

出席者：石井、大野、小畑、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、山田(利)、山田(紀)、吉田、<メネット>神谷、<ビジター>伊丹一之さん(東京むかで)、衣笠輝夫さん(埼玉)、菰渕光彦さん(東京サンライズ)、<ゲスト>町島嵩史さん(卓話)、近藤秋子さん、野原健治さん、後藤敬一さん、<メーキャンプ>木原

## —11月WHO報告—

WHOウォーキング11月例会は、秋晴れの28日でした。東横線・自由ヶ丘駅に38人が集合しました。

九品仏(くほんぶつ)川緑道から九品仏・浄真寺に入りました。江戸初期に徳川家綱から奥沢城跡を与えられたとのこと。規模、たたずまい、秋の色に変わった境内は見ごたえ豊かでした。開山した珂



WHO：九品仏で知られる世田谷区浄真寺の総門前

碩上人の作といわれる9体の仏像が3体ずつ、上品(じょうぼん)、中品、下品という名の3仏堂に安置されていました。これが九品仏の名の由来だそうです。

呑川緑道を神明橋から駒沢通りまで歩きました。かつては飲めるほどの清流も、今は暗渠です。

駒沢オリンピック公園は、1967年の東京オリンピックの第2会場で、あの女子バレーボールチームが大松博文監督を胴上げした室内体育館では、中学生のレスリング大会が行われていました。一角に1964年オリンピック記念ミュージアムがあり、あの感動が鮮明に蘇ってきました。

三段跳びのメダリストのホップ・ステップ・ジャンプの足跡が床に記されていて、想像を絶する跳躍力の凄さに驚いたり、砲丸投げの砲丸の重さを体験しました。

参加者の中には、あの聖火リレーの最終走者、坂井義則さんと数年前に酒場で遭った人、円盤投げの選手だった人などがいて、話が広く、深く盛り上がりました。

その後、駒沢公園を歩き、360度開けた秋空に感動し、深い林に秋の深まりを実感しました。田園都市線・駒沢大学駅で解散しました。(吉田明弘)

ワイズ関係の参加者は、石井・吉田(東京西)、中澤・藤江さん(東京たんぽぽ)でした。

## 他人をして語らせる —伊東クラブ40周年祝会—

11月22日に行われた伊東クラブ40周年祝会に出席しました。参加は、約180人でした。やるなあと、本当に感心しました。

まず、伊東少年少女合唱団が「みかんの花咲く丘」ほか1曲を歌いました、次のワイズソング、讚美歌「いつくしみ深き」も、そのまま残り、参加者とともに斉唱しました、譜面も見ずに。

この後、合唱団の理事長が、伊東クラブから団への助成に対して、感謝の言葉がありました。

懇親会では、伊東市教育長が、伊東クラブの伊東市キャンプ場の整備が、いかに役立っているか、ワイズメンが行うYMCAキャンプの人気と、市内小学生のドッジボール大会が盛り上がっているかを、具体的に語られました。DBCの彦根シャトークラブのバンド演奏も会を盛り上げました。

自分たちの活動を自分たちが語らないでも、まわりが自然に話してくれる、地域に浸透した伊東クラブの素晴らしさがありました。これは彼らが40年間の歴史の中で築いてきたものでしょう。

東京西クラブは、伊東クラブと同じ年ですが、平均年齢では20歳年長です。いかに来年の40周年を「東京西らしく」やるか、知恵を絞りたいと思いました。

(吉田明弘)

## 元メンバー 石井一也さんを偲ぶ会

東京西クラブチャーターメンバー石井一也さんは今年6月に入院、加療中でしたが9月19日に逝去されました。82歳11か月でした。

石井一也さんはクラブ会長、ブリテン担当、その他クラブの殆どの役職を務められ、南東部部長、日本区理事、事業主任、アジア地域会長、国際議員を歴任されまし

た。クラブでは特にIBC、DBC事業、クラブファンドレイジングに力を注がれました。2004年、新クラブの東京セントラルクラブ設立と同時に同クラブに移籍されました。

11月21日(土)12:00~14:30、石井さんが最期にしていた新宿の中華料理屋「随縁別館」で「石井一也を偲ぶ会」が開かれ、主としてワイズメン21人が集まり、故人を偲びました。出席できなかった方々19人から寄せられたメッセージも披露され、良い交わりの会となりました。(神谷幸男)

## 東新部アンケート結果

「ワイズの良い点、良くない点」が区報に載っていました。東新部部長・伊丹一之さん(東京むかで)が、7月の部長公式訪問時に各クラブからアンケートをとったものです。大変興味深いものなので参考までに掲載します。

### 「良い点」

- 出会い・友人 : 14%
- 奉仕・YMCA : 21%
- 国際・旅行 : 10%
- 学習・成長 : 8%
- 異業種・年代 : 11%
- 若さ・前向き : 9%
- イベント・楽しみ : 6%
- その他

### 「良くない点」

- 高齢化 : 11%
- 若者が少ない : 13%
- 閉鎖性 : 24%
- お金がかかる : 7%
- PR/EMC不足 : 15%
- 支援不足 : 12%
- その他

## 在京新年会のお知らせ

- 日時 : 1月9日(土)  
12:30~15:30
- 会場 : 桜美林大学・多摩アカデミーヒルズ
- 奨励 : 薛恩峰牧師
- 登録費 : 5,000円
- ホスト : 東京八王子クラブ

## クリスマスによせて

### サンタクロース村

ジングルベルの曲が聞かれると気になるのはクリスマスプレゼントとサンタさん。特に子どもさんは格別。そのサンタさんから手紙がもらえる所があります。

日本から一番近いヨーロッパ。(フィンエヤー宣伝文) フィランドの北のラップランド。サンタクロースの郵便局宛先は Santa Claus, Santa Claus' s Main Post Office, 96930 Napapiiri, Finland.

「住所がきちんと書かれている手紙には、全部返事を出します」はサンタ郵便局担当者の弁。私は幸いヘルシンキのサンタ郵便局の臨時局に出会い、教会幼稚園園児にクリスマスシーズンに届くように依頼したことがあります。

## シベリウス生誕150年

ワイズソングを作曲したシベリウスは1865年、ハーメルンナに生まれました。

今年は150年目の記念の年とあって首都ヘルシンキの100キロほど北にある、この町を訪れる観光客が多くヘルシンキより古いこの町は今、賑わっています。

1890年代、フィランドはロシアの統治下にあり、その時代に作られた交響詩フィンランディアは国民のアイデンティティーを奮い立てるものとなり、その曲の一節が讚美歌になり、ワイズソングにもなりました。

私は、オスロー国際大会参加の途中にトランジットでヘルシンキへ寄った際に、メンバーのグループ有志とシベリウス公園に行き、記念碑の前でワイズソングを歌ったことが懐かしく思い出されます。(山田利三郎)



## ☆☆ インタビュー ☆☆ 十河 弘さんに聴く

\* \* \*

十河弘さん(宇都宮)は、クラブはもちろん、区の多くの役職を務めてこられました。



—十河さんは、四国のご出身なんですか。

「讃岐うどんでは知られている香川県は高松市の出身です。今は血縁が途切れた豪族十河の十河城下、旧十河村の一族で、現在は全国で推定 800 家族います」  
—どういう縁で宇都宮へ。

「1957年に就職したのが偶然、宇都宮にあった航空機メーカーであったということです」  
—お仕事はどういうことを。

「航空機の電子システムと制御システムの設計一本です」

「入社直後の4月7日には戦後初の国産ジェット練習機の開発設計で私の書いた図面第1枚目が出て行ったというように、いきなり働かされました。その後は多種類の航空機電子システムと制御システムの開発設計を主体に、退職まで、技術で通しました」  
—航空機は、多くの企業の総合作品ですが、儲るものですか。

「航空機は、重量当たりの価格は自動車の100倍~500倍で、製造業の頂点にあります。でも量産数でも自動車とは桁違いに少ないし、利益が出ない仕組みになっています。徹底したコストコントロールをしています。官需では兵①□コストコントロールの中で、利益率も抑えられています」

—学生時代の専攻は。

「学部は電気工学科、その中で

専攻は、放電物理と電子工学。勉強とは別に徳島大学の学生YMCAに3年ほど所属しました。この3年間なしには、私のワイズは語れません」

—ワイズメンになったのは。

「ワイズメンズクラブの前に宇都宮YMCA(現とちぎYMCA)の設立に参加しました。1977年にさくらんぼ幼稚園、1978年に宇都宮YMCAが発足しました。翌年、東京むかでクラブの会員だった諏訪治男さん(現足利)と東京武蔵野クラブを設立した経験のある船津祥さんの主導でワイズメンズクラブの設立準備をすることになりました。当時、YMCAがあれば当然ワイズを作るものという感覚がありました。そのため、YMCAの理事に自動的に引き込まれてしまいました」  
—クラブの中に最初から居場所がありましたか。

「居場所はあったのですが、ワイズはYMCAの邪魔をしていると感じていたので、ワイズの動きに反対で、ワイスに積極的に参加するのには10年かかりました」

「入会后10年して、仕事で特に建前の多かった中央官庁との付き合いの気疲れの多い中で、本音で付き合える場所だと気づいたのが私のワイズの始まりです」

—宇都宮クラブは、今、東日本区の中で勢いのあるクラブですね。

「特別に勢いがあるとは思いませんが、宇都宮で大会のホストをすると、メネットを入れて50人位の力があります。通常はいいかばうときに力が出るのかも」

—ワイズ歴37年、十河さん、あるいは宇都宮クラブにとって良い思い出の10大ニュースはどんなことでしょうか。

「国春川β ClubとIB締結'86、②足利クラブのチャーター'86、③Yの老人ホーム設立支援'93、④宇都宮東クラブチャーター'93、⑤日本区最優秀クラブ賞'受賞 93、

⑥米モンテレイ・豪ウエンガラタクラブとIBC Triangle'97、⑦エルマークロウ賞受賞'98、⑧東日本区宇都宮大会ホスト'03、⑨Y3宇都宮(ユースクラブ)設立2003、⑩Y3宇都宮から4人入会'12と1人入会'15、といったところでしょうか」

—ユースクラブのその後は…。

「ユースクラブのY3宇都宮は、設立から13年を経て、メンバーの世代交代をしながらも活動を継続、会員数も15~20人を維持。昨年度からブリテンも発行しています。これからも継続する下地はできています」

—十河さんは、最初にお会いした時から、体形も、変わらないように思いますが。

「海岸育ちなので3年位前までは、夏はもっぱら水泳で体力を維持していました。今は、朝夕40分位歩いているだけです。やはり以前とは違いますよ」

—ワイズメンになったために良かったということがありますか。

「地元で根ざした仕事をしている人と出会い、自分に新しい出会いができたことでしょうか。そして、少々いい加減な会議も我慢できるようになりました」

—今、ワイズの課題は何だと思われていますか。

「気楽に参加できるクラブにして、会員を増やすことが急務です。今、多くのクラブを見ると、活動をやりすぎているのではないかと思います。最近、時間が出来たので、市民センターのウェブページ作成と広報紙の編集まとめをボランティアで行っています。気がついたことは、ワイズ(教会も)に一生懸命になると、地域の活動に出る余裕がなくなり、地域とのパイプを失っているのではないかと思います。これではワイズに新しい人を誘う機会が少なくなります」

—ありがとうございました。

(吉田明弘)

前近代社会では「老いる」という言葉は、決してマイナスのイメージではなかった。むしろ長老とか、知恵と経験を重ねた尊敬の対象だった。ところが、工業化、情報社会となつて、老人の知恵はいつの間にか無用の長物になってしまった。同時に定年退職制度によって“老いる＝生産性が落ちる”という図式に拍車がかかりました。しかし老いるのを避けるより、強くかっこよく老いることが大切です。

顔面に起こる年齢変化の原因は、真皮の衰えです。皮膚は、その表面から表皮、真皮、皮下組織という3層で成り立ち、真ん中の真皮の中にはコラーゲンやエラスチンといったクッションの役割を果たすたんぱく質が張り巡らされ、保水成分が肌の潤いと弾力を保ちます。ところが年齢と共にそれが低下し、潤いと弾力が維持できなくなりシワやたるみとなって表れます。そして骨のない部位は重力に従って下垂しやすいようです。

まぶたが垂れる、頬の肉が垂れる、口元・顎の肉がたるむ。気になるのは「姿勢」。猫背、または反り気味の姿勢になる。背筋が落ちることによって、まっすぐの姿勢がキープできなくなる。結

## 休まず、楽しく、頑張らず！

こおちゃんの *Wellness*

渋くカッコよく  
老いるために

2013年7月掲載 堀内浩二

と筋肉の厚みが2~9%落ちてしまう。

30歳代以降、脚の筋肉がやせてくるのに反比例して上半身は肥えていく。胸まわり、腹まわりの脂肪、皮下脂肪だけでなく内臓脂肪が蓄えられる。

胸部のように骨のカバーが無いため、腹まわりには脂肪が付き放題、原因はもちろん運動不足と筋肉不足による代謝の低下です。下肢の衰えと、上体の肥満は表裏一体の現象なのです。

まず垂れ防止で若返りには…

**顔** 左右交互にウイंक、口を大きくあける。

**胸・腹** ①仰向けになって両手を頭のうしろに組む ②肩甲骨から上を床から浮かせる ③体幹をツイストさせながら、左右交互に手の肘を反対の脚の膝につける

**尻・脚** 横向きに寝て、上の脚を持ち上げる。仰向けに寝て、尻を上にあげる。

**骨盤** 両足を大きく開き、膝を曲げ腰を落とす。

果的に猫背でのチョコチョコ歩きといった老けシルエットに！

老いると真っ先に落ちる「筋肉」、それが大腿の前側です。

大腿の前、大腿四頭筋は、40歳代以降ガクンと落ちる。その原因は運動力の減少。使わなければ衰える。若者でも20日間寝たきりだ

## The Color 5K Run

鳥越成代

10月、米国 San Diego で集まりがあり、友人夫妻を訪ねた。到着した夜に、明日はランニング大会があり、私もエントリーしてあると言われてびっくり。

翌日早朝、おそろいの T シャツ、バンドナ、各自ゼッケンを身に着け、車で会場へ。大変な人波で、数は想像もつかない。

会場は広い野原で遊歩道のような道がその中に長く伸びている。アナウンスに従い、スタート地点に。横8列ぐらいに並んでも、先頭は見え、号砲でスタートしたことが分かった。

1km も行かないうちにゴムの大きなアーチをくぐる。うかつにもその時までこの大会が The Color Run となっている意味を考えなかった。近づいてその辺が、もうもうとピンク色になっていることに気が付いた。走路の両側

にかなり大きな噴霧器を持った若者たちが待ち構えていて、アーチをくぐる人々めがけて勢いよく全身にピンク色の粉？を吹きかける。体幹がピンクに染まった。その後もいくつかアーチがあり、ブルー、オレンジ、黄色、緑が加わり、全身5色の色に染め上げられた。頭も顔も容赦なしに吹き付けてきた。目をつぶり、鼻、口にタオルを当てて通過したが、まつげも染め上がるほどなのである。

ゴールを通過すると完走のメダルを渡され、今度はカラーを取るため噴射機で強い風を送られる。でもそのまま、写真を取り合っていて笑いこけている人の方が多い。老いも若きもこのイベントを楽しんでいた。

白髪がまだピンクに染まっていた日本人の医者である友人と

思わず交わした会話は、赤子にも着いていたカラーの材料と、日本ではこのイベント許可されるかどうかについてだった。

夜、友人達とのパーティで、ドレスアップした中年の女性の腕には、HAPPY と金色の tattoo のような貼物があった。とてもよく似合って素敵なのだが、それはカラー・ランで支給されたものだった。私のものは今も台紙に貼り付いたまま、メダルと一緒にしまっている。

## 編集後記

今月号も多くの方のご協力で出来上がりました。感謝です。

良いクリスマスをお楽しみ下さい。

東京YMCAは会員募集中です。まだ会員でない方は、担当主事小畑貴裕さんにご相談下さい。

(R. Y)